

シンポジウム【看護師のHBOへの関与】 看護師によるHBO業務のポイント

阿部昌子

社会医療法人平成医塾 苫小牧東病院 検査科 高圧酸素室

【はじめに】

当院は、平成元年に開院した北海道苫小牧市に位置する急性期から慢性期まで対応する260床の施設である。高気圧酸素治療（以下HBO）は開院当初より導入され、第1種装置1台にて年間約250件実施している。高気圧医学専門医、高気圧酸素治療専門技師（以下専門技士）を有し、HBO業務は検査科高圧酸素室に属し、看護師1名、臨床工学技士（以下CE）2名の計3名で業務展開を行っている。今回、当院が実施するHBOにおいて、看護師が実施する業務のポイントについて報告する。

【業務分担】

HBO室と病棟での業務区分を以下に示す。HBO室業務の一例では（図1）、CEは、装置関連担当および教育を担い、HBO看護師はより臨床的な対応を行う。病棟業務の一例では（図2）、大きな区分はないが、HBO看護師は、病棟看護師のフォローおよび安全確認を強化した対応を行う。



図1 HBO室での業務分担例

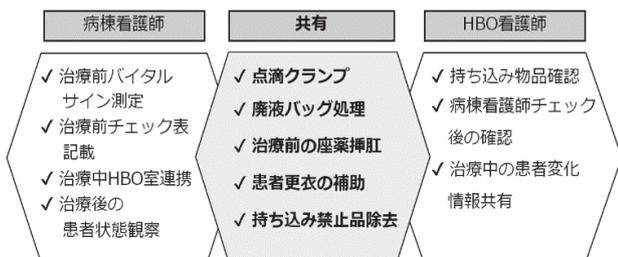


図2 病棟での業務分担例

【業務のポイント】

業務のポイントを、準備から治療開始までの「1.治療前業務」、治療開始から治療終了までの「2.治療中業務」、治療終了から次回治療までの「3.治療後業務」に区分した。

1. 治療前業務のポイントは、治療前からの患者との関わりである。治療の準備段階から介入し、病棟からの付き添いにて患者との距離感を縮めることで、患者との信頼関係を築くことが大切と思われる。
2. 治療中業務のポイントは、安心安楽な治療の提供である。治療は90分という長時間の臥床を強いられるため、体位の工夫や体調変化への気付きはとても大切である。そのために、事前の準備と病棟と連携した観察が重要と考えている。
3. 治療後業務のポイントは、チーム医療の推進である。多職種との協力は重要であるが、更に同じ看護師として、HBO看護、病棟看護という垣根を作らず、コミュニケーションを適切に図ること、同職種間だからこそ、密な連携がポイントと考えている。

【まとめ】

看護師が常駐し治療前から治療後まで携わることは、患者へ24時間体制で関わることが可能となるため、安楽な治療提供に繋がると考えられる。

患者の精神的サポートを担うことが重要であることから、多職種とチームを組み、良好なコミュニケーションを図ることが大切である。看護師の専門技士の在り方は、患者が治療に専念できる環境作りを構築することにあるため、HBO治療における看護師の存在意義は高いと考えられる。多くの看護師が専門技士取得を目指すことを願う。